

2017年6月30日

日本教育制度学会会長 清水 一彦
第25回大会準備委員会委員長 宮腰 英一

日本教育制度学会第25回大会のご案内

日本教育制度学会会員 各位

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る11月11日（土）、12日（日）の両日、日本教育制度学会第25回大会を東北大学にて開催することになりました。つきましては、以下の通り大会日程をご案内いたします。

自由研究発表は1日目（11日）の午後、課題別セッションは2日目（12日）の午前に設定されております。会員の皆様におかれましては、日頃の研究成果を持ち寄って頂き、教育制度研究の交流と活性化を図る機会として頂きたく存じます。また、公開シンポジウムでは「教育制度は人を幸せにしてきたか」というテーマのもと、教育制度研究の現状と今後求められる分析の方向性について、会員の皆様とともに探求する機会にしたいと考えております。

会員の皆様のご協力により充実した大会になりますよう、大会準備委員会一同心より願っております。どうぞ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

敬具

記

I. 大会日程

第1日 11月11日（土）

- 11:00～12:00 紀要編集委員会
- 12:00～ 受付
- 12:10～13:10 理事会
- 13:30～16:30 自由研究発表
- 16:40～17:10 総会
- 17:30～19:30 懇親会（学内会場を予定）

第2日 11月12日（日）

- 9:30～12:00 課題別セッション
- 12:00～13:00 昼食（お弁当は予約制）
- 13:00～16:00 公開シンポジウム

II. 大会会場

東北大学大学院教育学研究科 川内南キャンパス（文科系総合研究棟）
〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院教育学研究科

Ⅲ. 参加費

大会参加費 正会員／臨時会員 3,000 円

懇親会費 正会員／臨時会員 4,000 円

※公開シンポジウムのみ参加は無料です。

Ⅳ. 公開シンポジウム

日 時：2017 年 11 月 12 日（日）13:00～16:00

場 所：東北大学川内南キャンパス 文科系総合講義棟（法学部第 2 講義室）

テーマ：教育制度は人を幸せにしてきたか ―教育の制度分析の現在地と未来―

趣 旨：

教育制度とは何か。それは歴史的には、近代国民国家の成立とともに整備されてきたものであり、理念的には教育機会の平等を保障しつつ、国民の形成と個人の社会的・経済的力量形成を図る装置として理解されてきた。もちろん、現実的には、職業との接続において学校種の差異化による人材配分機能を担ってきたのであり、経済資本・文化資本・社会関係資本の多寡による教育結果の不平等を固定・促進する装置であるとの批判もなされてきた。こうした矛盾を根本に抱えつつ、近年では PISA を舞台とした国家間の学力比較のもとで世界的に求められる人材像や学力像が収斂しつつあり、国民形成としての教育制度という側面が変容しつつある。また、日本国内では、公教育費や社会福祉費の削減が進むなかで「子どもの貧困」が顕在化し、教育機会の平等も明らかに後退しつつある。

こうした状況において、教育制度に求められる役割とは何か。一般的・抽象的には人と社会をともに幸福にすることだとしても、ここには既にそれぞれの幸福とは何であり、拮抗する場合にどちらを優先すべきかという古典的な課題が内包されている。これに加えて、経済・社会のグローバル化や公的財政の悪化が進む現代では、人々に誰を含めるのか、社会とはどの範囲を指すのか、何をどのように分配すべきなのか、といった課題も鋭く問われている。そのなかで現代の教育制度が改めて人と社会の幸福に寄与すべきだとすれば、これらの課題をどのように受けとめ、どのような仕組やプロセスを構築することが求められるのか。

本シンポジウムでは、近年の教育制度研究において以上の課題がどう受けとめられ、どのような分析がなされてきたのか、今後どのような展開が可能なのかについて、会員や一般参加者とともに考察を深めていきたい。

登壇者：山下 晃一（神戸大学）：「教育実践への規定力から見た教育制度分析の現状と課題」

雪丸 武彦（大分大学）：「インクルーシブ教育から見た教育制度分析の現状と課題」

橋本 憲幸（山梨県立大学）：「国際教育開発研究から教育制度を問い直す」

司 会：阿内 春生（福島大学）

Ⅴ. 発表等の申込について

（1）自由研究発表

自由研究発表を募集します。発表は本学会員に限定します。ふるってご応募ください。

①発表時間：個人研究、共同研究ともに 40 分です（発表 20 分、質疑応答 15 分、指定討論 5 分）。

②申込方法：以下のいずれかの方法でお申し込みください。

【郵送】別添の「自由研究発表申込用紙」（日本教育制度学会ウェブサイトからもダウンロード可）に

必要事項をご記入の上、大会準備委員会宛にお送り下さい。

【Eメール】「自由研究発表申込用紙」の各事項についてご記入の上、添付ファイルにてお送り下さい。
メールの件名は「自由研究発表申込（氏名・所属）」でお願い致します。

（宛先：jseso25@sed.tohoku.ac.jp）

③指定討論者について：発表者は指定討論者より内諾を得てからお申し込みください。指定討論者を決めかねる場合は、学会事務局が依頼します。申込用紙にその旨を書き添えて下さい。

④申込締切：**8月21日（月）必着**

⑤発表申込留意事項

- ・発表者は、事前に指定討論者の方と連絡をとり、発表用資料（レジュメ等）に目を通していただくよう段取りをお願い致します。
- ・万一、やむを得ない理由により発表を取りやめる場合は、速やかに大会準備委員会までご連絡ください。なお、発表取りやめになった場合でも、次の発表を繰り上げることはいたしません。

（2）課題別セッション

本学会は、会員の教育・研究活動の発展に寄与するために、教育制度に関する最先端の研究課題について討議する課題別セッションを設けています。共同研究の積極的な企画の申し込みを期待しております。

①申込方法：別添の「課題別セッション申込用紙」（日本教育制度学会ウェブサイトからもダウンロード可）に必要事項をご記入の上、大会準備委員会にお申し込みください。Eメールまたは郵便でお受けします。Eメールの件名は「課題別セッション申込（氏名・所属）」でお願いします。その他詳細は自由研究発表と同様です。

②申込締切：**8月21日（月）必着**

（3）共通事項

①発表資料

- ・発表者は、発表用資料を30部程度ご用意ください（会場でのコピーはできません）。
- ・直接ご持参いただく場合は、当日、各会場におります係にお渡し下さい。
- ・大会準備委員会に郵送される場合は、あらかじめその旨をご連絡いただいた上で、11月6日（金）必着でお願い致します。

②PowerPointをお使いになる場合

- ・PowerPointをご利用になる方は申込時に必ずお知らせ下さい。会場の都合により、申込時以降にお知らせ頂いても、対応できかねますのでご了承下さい。
- ・当日はデータファイルのみ「USBメモリ」に入れてご持参ください。ただし、発表会場によってはPowerPointの最新版の機能に対応していない可能性もございますので、あらかじめご了承ください。
- ・PCを持参される方は、VGAケーブル（15ピン）での接続となりますので、ご注意下さい。

VI. 大会・懇親会への参加申込

大会・懇親会への参加申込は、後日大会プログラム送付の際に申込用紙を同封致します。その際に2日目のお弁当の希望も確認致します。懇親会では東北のお料理や地酒等をご準備致しますので、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

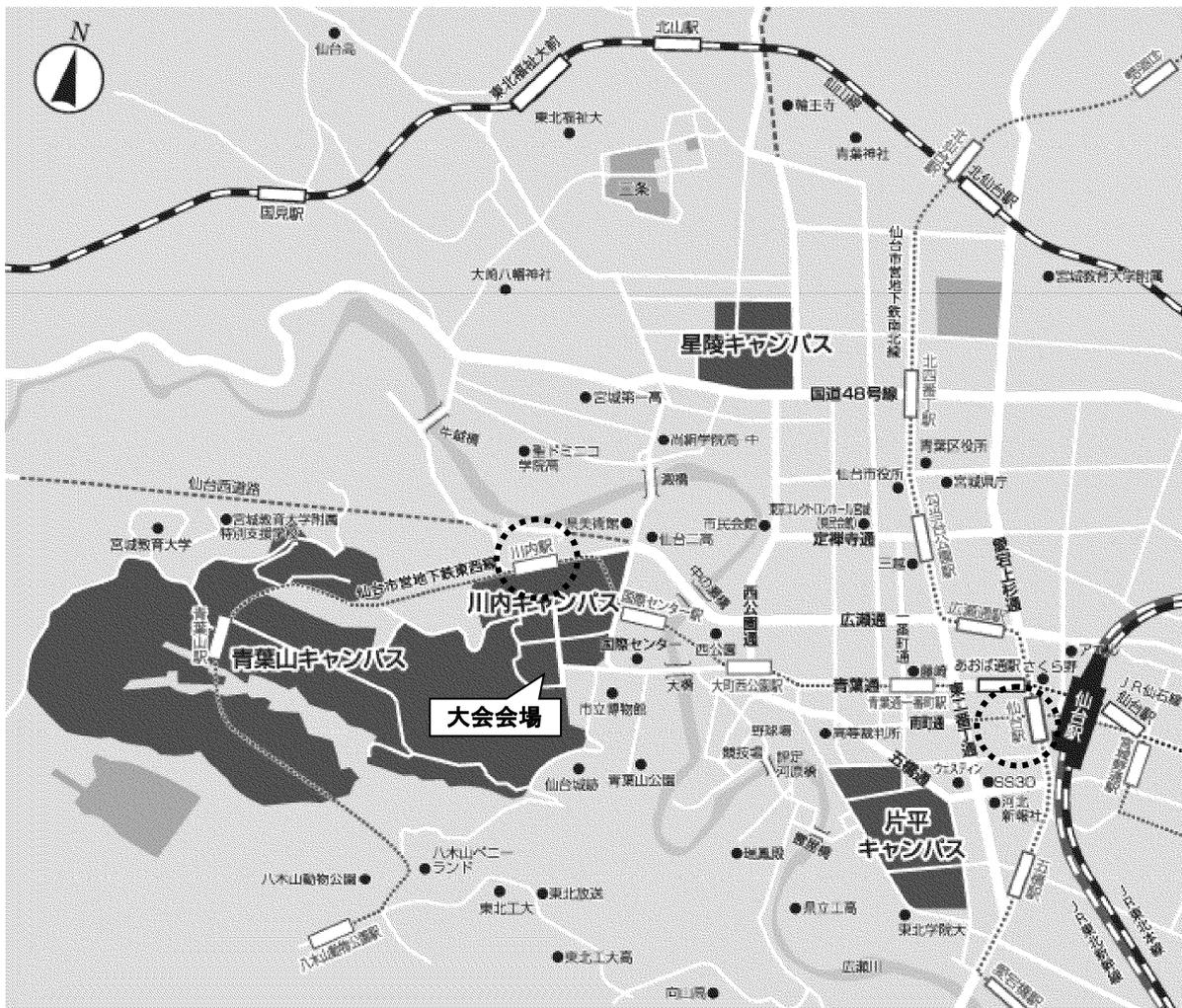
Ⅶ. 宿泊と交通手段

大会参加のための交通機関及び宿泊につきましては、会員各自でご手配ください。宿泊につきましては、仙台駅周辺もしくは国分町周辺のホテルが会場までのアクセスに便利です。行楽シーズンとも重なりますので、お早めにホテルをご予約ください。

Ⅷ. 会場までのアクセス

会場までのアクセスの概要は、次の通りです。(例：地下鉄利用の場合。)

- ・ JR 仙台駅改札から地下鉄東西線改札まで徒歩約 5 分。
- ・ 地下鉄東西線「八木山動物公園駅」方面に乗車し、約 6 分で「川内駅」到着 (200 円)。
- ・ 「川内駅」から南に徒歩 5 分で会場に到着。



※詳しいアクセス方法については、大学 HP (<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/>) をご覧ください。

Ⅸ. 申込及び問合せ先

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院教育学研究科 後藤研究室気付

日本教育制度学会第 25 回大会準備委員会

事務局メールアドレス: jseso25@sed.tohoku.ac.jp

事務局 TEL&FAX : 0 2 2 - 7 9 5 - 6 1 3 1 (後藤)